

私立大学情報教育協会  
平成27年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

F-1班 F1大学(仮)

1

発表テーマ

幸せになるために

2

## テーマ選定理由(1) 大学の役割

＜私たちが考えた大学の役割＞

充実した学生生活を送ることができる環境を提供すること  
多様性を認め、世界に貢献できる人材を社会に還すこと

＜役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか＞

自発的に学び続けることができる人材の育成  
グローバル人材の育成  
社会の変化に対応できる人材の育成

3

## テーマ選定理由(2) 大学の現状

＜今の現状はどうだろうか？＞

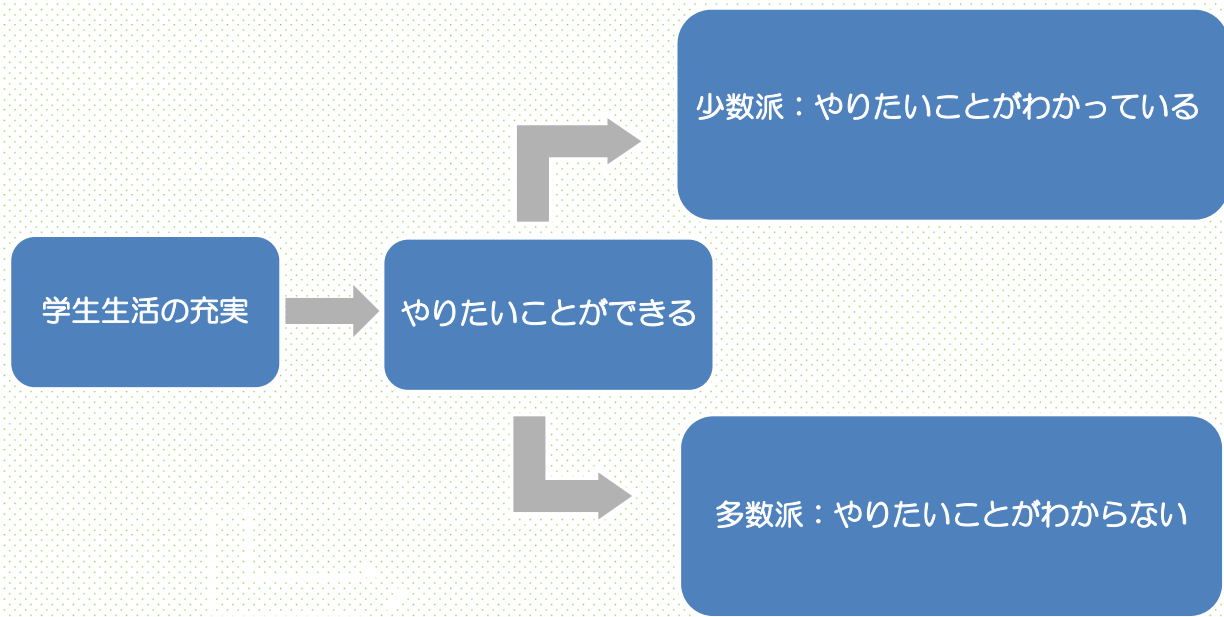
受動的な学生の増加  
英語力の低下  
周りの意見を取り入れられない

＜役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？＞

自ら学ぶ習慣をつけさせるための取り組み  
多様な人間関係を構築する手助けをする取り組み  
自分の人生について考え、行動できる手助けをする取り組み

4

# 問題点の深堀



5

## テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

<大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？>

やるべきことがあっても強制では身につかない！



イノベーション！！！！



充実した学生生活を送ることができる！  
＝幸せになれる！！

6

## 解決策の検討

- ーライフハック
- ー授業を録画し、Webを通して公開
- ー学びを実用した成功例の共有
- ーSkypeや遠隔授業システムで異文化交流
- ー潜在的に持っている意識を可視化
- ー体験・実習型授業の取り入れ

etc . . .

7

## 大学のイノベーションの提案

### <提案の概要>

学生が持つ潜在的な興味・関心を引き出す仕掛けづくり

### <何を問題として捉えたか>

やりたいことがわからない学生の増加

やりたいことはあるが、具体的な方法がわからない学生へのアプローチ不足

### <問題を解決する方法として何を提案するのか>

“やりたいこと診断”

例) <http://www.kufs.ac.jp/tsunagaru/index.html>

“幸せ課”の設置

診断結果を配付

→幸せ課のスタッフ（学生支援・教務・就職支援・国際交流・SA）と面談

→各部署から1名ずつ交代で勤務、ピアサポーターの配置

“カテゴリ別講演会”の実施

→各分野に特化した講師による講演会を開催

8

# 大学のイノベーションの提案

## <これを実現するためのアプローチ方法>

- 大学：“やりたいこと診断”の内容の集約
- 教員：担当学生の結果の閲覧を促す
- 職員：関係各所への“やりたいこと診断”の周知徹底  
          カウンセリング力の向上、職員研修
- 社会：高校や予備校への広報、講師依頼

## <解決策実現のためのハードルと打開策>

- 診断内容の更新の必要性 → 定期的更新スケジュールの設定
- 予算の獲得 → 利用できる補助金の申請
- 人員の確保 → 学生ボランティアの活用
- 教職員への協力要請 → 学内説明会の開催

## <解決されたときの姿>

**利用率100%、面談率100%、学生生活の充実度100%！！！！**